※令和４年度以降入学生用

学校番号	3034

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理探究	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	新詳「地理探究」（帝国書院）　　新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	新詳地理図表 COMPLETE2025（帝国書院） 地理統計 Plus-Web GIS 付き-2025 年版（帝国書院）実力トレーニング地理（啓隆社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・空間認識を確かなものにするため、地図帳で位置を常に確認しながら、歴史的背景も踏まえ、規則性を捉えよう。
・模式図と分布図を対比させることで理解が進む。視覚的に捉えると、より理解を深めることができる。また、統計もみることで、最新の動向が理解できる。
・地理的事象に「なぜ」の視点を持ち、論理的に理解をしよう。
・授業は授業プリントを用いて行う。地理は暗記科目ではないので、「空欄を補充し、とにかく覚える」という授業の受け方をせず、理由や根拠などメモを取りながら、理解をするようにしよう。

2　学習の到達目標

・「地理総合」で身につけた作業的・体験的な学習で得た資質・能力を前提に、学習を進めていく。
・年間の全ての授業において、地図が繰り返し利用され、地理情報システム的な発想をいかんなく盛り込む。必要に応じて「地理総合」で取り上げられた地理的スキルを振り返り再利用する。
・系統地理分野では、従来の分野に加え、持続可能な循環型社会について考察する「資源・エネルギー」、最新動向を踏まえた「工業」「第３次産業」に加え、昨今の社会変化にあわせて新たに「観光」を強調する。地誌分野では、現代世界の諸地域にみられる地域的特色や地球的課題を地域の結びつき、構造や変容に着目し多角的・多面的に理解する。
・系統地理分野、地誌分野ともに日本国内の問題を想定し、どうすれば持続的な日本社会を維持できるか、これからの日本の国土像とリンクさせ、主体的に追究させる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や世界の諸地域の構造や変容に関する理解 ・調査や地図・統計などの諸資料から、地理に関する情報を、地理情報システムなどを用いて効果的に収集、読み取り、まとめる技能	・地理に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連について、系統地理的あるいは地誌的に概念等を活用して多面的・多角的に考察したり、地域に見られる課題を把握し、その解決に向けて構想したりする力 ・考察・構想したことを適切な資料・内容や表現方法を選び効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力	・世界の空間的な諸事象の規則性、傾向性や世界の諸地域の構造や変容について、主体的に調べ、課題を意欲的に追究する態度 ・世界や国土のあり方を意欲的に探究しようとする態度 ・多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、国土に対する愛情、他国の文化の尊重の大切さの自覚

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	第2章 資源と産業	1節 農林水産業 農業の発達と分布 農業の地域区分 現代世界の農業の現状と課題 日本の農業の現状と課題 世界の日本の林業 世界と日本の水産業	a: 自然条件の影響を受けるとともに,社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には,どのような傾向や規則性がみられるかについて理解している。 b:自然条件の影響を受けるとともに,社会条件の変化に伴って変容してきた農林水産業の分布や発達には,どのような傾向や規則性がみられるかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:農林水産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期テスト 問題集	定期テスト ノート	学習状況 振り返りシート
		2節 食料問題 世界の食料問題 日本の食料問題	a: 食料の分配の世界的な偏りや，飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて理解している。 b: 食料の分配の世界的な偏りや，飽食や飢餓がみられる地域とその原因は何かについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 食料問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

		3節 エネルギー･鉱産資源 エネルギー資源の種類と利用 化石燃料の分布と利用 電力の利用 鉱産資源の種類と利用	a： 世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや，エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか，生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて理解している。 b： 世界のエネルギー・鉱産資源の分布の偏りや，エネルギー・鉱産資源がどのように生活や産業に利用されているか，生産や消費の不均衡をなくすためにどのようなことが行われているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c： エネルギー・鉱産資源について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			
1 学 期		4節 資源･エネルギー問題 資源･エネルギーをめぐる課題 日本の資源･エネルギー問題	a：これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し，今後，資源・エネルギー問題を解決し，持続可能な社会を実現するためには，どのような考え方が必要かについて理解している。 b： これまでの資源・エネルギー問題の考え方に対し，今後，資源・エネルギー問題を解決し，持続可能な社会を実現するためには，どのような考え方が必要かについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c： 資源・エネルギー問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期テスト 問題集	定期テスト ノート	学習状況 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

2学期		5節 工業 工業の発達と種類 工業の立地 世界の工業地域 現代世界の工業の課題と現状 工業の知識産業化とスタートアップ企業 日本の工業	a：さまざまな製品を生み出し，人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し，現在はどのような工業分野や地域が中心となり，どのように変わろうとしているかについて理解している。 b：さまざまな製品を生み出し，人々の生活や産業の発展を支えてきた工業はどのように発展し，現在はどのような工業分野や地域が中心となり，どのように変わろうとしているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：工業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期テスト 問題集	定期テスト ノート	学習状況 振り返りシート
		6節 第3次産業 経済発展と第3次産業 商業の現状と変化 商業以外のさまざまな第3次産業	a：経済が発展し，物やサービスへの需要が高まったため，主力の産業となった第３次産業の現状はどのようになっているか理解している。 b：経済が発展し，物やサービスへの需要が高まったため，主力の産業となった第３次産業の現状はどのようになっているか，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：第３次産業について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			
2学期	第3章 交通・通信と観光、貿易	1節 交通・通信 世界を結ぶ交通 日本の交通の特徴 情報通信の発達	a：社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には，なぜ傾向や地域性，地域間格差が現れているかについて理解している。 b：社会や経済を大きく変化させた交通網や通信網の発達には，なぜ傾向や地域性，地域間格差が現れているかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：交通・通信について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期テスト 問題集	定期テスト ノート	学習状況 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		2節 観光 余暇の拡大と観光産業 日本の観光とその変化	a:日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや，観光の特徴や利点，課題について理解している。 b: 日本での訪日外国人数を増やして観光産業などを盛んにしようとする取り組みや，観光の特徴や利点，課題について,多面的･多角的に考察し，表現している。 c:観光について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			
		3節 貿易と経済圏 世界の貿易と地位間格差 貿易の自由化と経済連携 日本の貿易	a:拡大を続けている世界の貿易では,地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて理解している。 b: 拡大を続けている世界の貿易では,地域性や地域間格差が現れてきているのはなぜかについて，多面的･多角的に考察し，表現している。 c: 貿易と経済圏について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
2学期	第4章 人口、村落・都市	1節 人口 世界の人口 人口の移動	a: 増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布，年齢別構成，移動には，どのような特徴がみられるかについて理解している。 b: 増加する世界人口と世界各地の人口の増減や分布，年齢別構成，移動には,どのような特徴がみられるかについて，多面的･多角的に考察し，表現している。 c: 人口について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる	定期テスト 問題集	定期テスト ノート	学習状況 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

			課題を主体的に追究しようとしている。			
		2節 人口問題 世界の人口問題 日本の人口問題	a：社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や，先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて理解している。 b：社会情勢や文化などのさまざまな要因によって異なる世界各国・各地域の人口規模・分布や，先進国と発展途上国の出生率の高低や高齢化の進行の違いについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：人口問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			
		3節 村落と都市 集落の成り立ち 村落の形態と機能 都市の成立と形態・機能 都市圏の拡大と都市の構造	a：村落や都市の立地や発達，形態，変容のしかたにみられる傾向や規則性，国や地域によって異なる地域性について理解している。			
		3節 村落と都市 集落の成り立ち 村落の形態と機能 都市の成立と形態・機能 都市圏の拡大と都市の構造	b：村落や都市の立地や発達，形態，変容のしかたにみられる傾向や規則性，国や地域によって異なる地域性について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c：村落と都市について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期テスト 問題集	定期テスト ノート	学習状況 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

		4節 都市･居住問題 発展途上国の都市･居住問題 先進国の都市･居住問題 日本の都市･居住問題	a: 世界の都市が持続的に発展していくための課題，日本の都市の課題と解決するための取り組みについて理解している。 b: 世界の都市が持続的に発展していくための課題，日本の都市の課題と解決するための取り組みについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c: 都市・居住問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			
	第５章 生活文化、民族・宗教	3節 国家の領域と領土問題 現代世界と国家 領土問題と解決への取り組み 日本の領域と領土をめぐる問題	a:国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること，領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて理解している。 b:国家の領域はさまざまな境界線で区分されていること，領域が定められたり領域が変更されたり国家が誕生したりすることで問題が起こっていることについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:国家の領域と領土問題について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

3 学 期	第2章　現代世界の諸地域	1節　中国 2節　韓国 3節　ASEAN 諸国 4節　インド 5節　西アジアと中央アジア 6節　北アフリカとサハラ以南アフリカ 7節　EU 諸国 8節　ロシア 9節　アメリカ合衆国 10節　ラテンアメリカ 11節　オーストラリアとニュージーランド	a：いくつかの地域に区分した現代世界の諸地域をもとに，諸地域にみられる地域的特色や地球的課題などについて理解している。 b：現代世界の諸地域について，地域の結びつき，構造や変容などに着目して，主題を設定し，地域的特色や地球的課題などを多面的・多角的に考察し，表現している。 c：現代世界の諸地域について，よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究しようとしている。	定期テスト 問題集	定期テスト ノート	学習状況 振り返りシート

表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度